



# らくびお 楽Bio通信

2024年  
3・4月号

## NS乳酸菌革命記

私たちは微生物や細菌との良好な共生関係をめざしていますが、いかに共生といっても、やはり菌には、体表面でも消化道でも呼吸道でも、コーティングの役割に徹してもらいたい、という事です。

なぜNS乳酸菌が安全かといえば、健康な雑食動物の消化道のなかに、口から肛門まで（口腔、胃、十二指腸、空腸、回腸、結腸など）、すべてのところに分布しているものだからです。私たちが最優先に考えるのは、まず安全性です。サイズの大きな乳酸菌を使う理由の第一はそれを考えてのことです。

乳酸菌の世界では善玉菌、悪玉菌という言葉がよく用いられ、乳酸菌は善玉菌の代表格といわれています。しかし、私はこの言葉の使い方があまり好きではありません。善玉菌と聞かされると、文句なく自分たちの味方と思い、悪玉菌といわれると、自分の敵と身構える。しかし、現実はそのほど単純なものではありません。

菌はどこまでも菌ですから、時と場合によって善玉菌も感染症を引き起こすことがあります。また、悪玉菌のなかには、敵視されながらも、宿主に貴重なビタミンを合成している健気な菌

もいます。それから、大腸菌を含めほとんどの腸内菌は日和見菌である事実も忘れてはいけません。善悪のバランスによって、日和見菌は善悪両方に作用するのです。だから日和見菌と呼ばれているわけです。

何度も繰り返しますが、腸内菌というのは、バランスが何より大切であり、バランスさえとれていれば、あとは腸と腸内菌が懸命に働いてくれます。

ところが、いま日本で乳酸菌製品をつくらしている会社は、生きている菌をわざと殺菌処理して製品化するところが多いようです。そして「殺しても効果は同じ」などといっています。こんな例があります。

日本で指折りの立派な大学の、ノーベル賞をもらってよいほどの有名な教授の話ですが、「菌をたくさん増やした後、殺してから飲んだら効果があった」というのです。その理由はなんですか？と問うと、「乳酸菌が死の直前に抗生物質らしきものを生成するか」といいます。

乳酸菌は死の直前に、いろいろな情報を仲間へ伝えていくようです。まず同志に「増えないでください」とか「状況が悪い」というように、特別な情報を伝達することが考えられます。

栄養を安定的に摂取できる生菌の場合、そのような情報を出しません。ほかの菌と一緒に培養すれば、共生状態

となり、ともに成長・増殖していきます。共生状態の乳酸菌は、防腐剤として肉につけても防腐効果はいいさいありません。

これとは反対に「増えないでください」というような情報を出した乳酸菌、つまり培養してゆっくり加熱で死なせた菌、あるいは栄養が継続的に摂れない菌が肉につけば、防腐作用がかなり出てきます。

ほかの実験でも、死なせた菌を同じ種の生きている菌の培養液に入れると、それ以上増えなくなります。死んだ菌が死の直前に出していた情報が生菌に伝わって、生育の邪魔をする抗生物質か、または抗菌タンパクを出すのだと考えられます。

すべての菌は両面性があります。共生性(原生性)と抗生性です。したがって、すべての菌から抗生物質をつくり出せると考えられます。みそや醤油、納豆、チーズなどは発酵が進み過ぎても腐りません。このことから生きた菌は共生性の力を発揮し、やがて衰えて抗生性になるといことがわかります。

とにかく死んだ菌と生菌とを一緒にすると生菌が増えにくくなるのは事実です。したがって「死んだ菌であっても生菌と機能は同じ」というのは、不完全な科学的研究だと私は思います。

「NS乳酸菌が病気を防ぐ」より抜粋



ピンドゥドゥンと大草原の乳酸菌®

2022年冬季北京オリンピック・パリンピックのマスコットキャラクターの「ピンドゥドゥン」。ラクア社内にまた新しい仲間が増え、社員の働きぶりを見守ってくれています。『大草原の乳酸菌』と記念撮影してみました。現在でも北京では人気キャラクターのようです。

## イベント



中野ランニングフェスタ 2024  
(2024年3月10日)

東京都中野区のセントラルパークにて開催された「中野ランニングフェスタ2024」で、『大分食堂あんじ』様のご協力のもと『大草原の乳酸菌』のサンプルを配布していただきました。



※個人の感想であり、効果効能を示すものではありません。

「大草原の乳酸菌」  
お客様の声

便秘がちよと良くなったのかも

NS-MAXとNSスリムを 朝に2錠ずつ水で飲んでいました。  
飲み始めて2ヶ月です。  
排便回数や変化は無いのにか、健康に思っています。

女性・埼玉県在住

50代・男性・東京都在住



「Poco' ce (ポコチェ)」  
(2024年4月号)



「注目情報はこれだ!」  
(2024年度版)



「アレルギーの臨床」  
(2024年3月号)



「TVホスピタル」  
(2024年2月号)

「大草原の乳酸菌®」「チイサナミカタ®」「ラクア」が掲載されました

メディア掲載



楽天デイリーランキング（プロバイオティクス部門）に「大草原の乳酸菌®」のMaxとSlimの両方が日々ランクインしています。



ランキング



「アグリバイオ」  
(2024年4月号)  
大草原の乳酸菌®が掲載されました

しゃがあの  
日蒙文化交流支援

ラクアが支援している日蒙文化交流活動です。賛助会員を募集しております。



バンベンの  
砂漠緑化支援

ラクアが支援しているモンゴル地方の植林活動です。



NS乳酸菌で持続可能な  
社会的畜産・農業の推進

岐阜県高山市でNS乳酸菌を活用した特別な堆肥づくりが行われています。ラクアでは(株)Koagoが推進する持続可能な社会的畜産・農業を応援しています。



楽Bio通信

ラクアが発行するお客様資料「楽Bio通信」の過去の号が閲覧できます。



電話でのご注文・お問い合わせ

フリーダイヤル  
0120-098-529

※受付時間/9:00~21:00(土日祝日も承ります)

ホームページでのご注文・お問い合わせ

大草原の乳酸菌 検索



ラクアリンク集